

はじめに

私たちが心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすために「食」は欠くことができないものです。その「食」に関する知識と「食」を選択する力を様々な経験を通じて習得し、健全な食生活を実践していくためにも「食育」はあらゆる世代にとって、とても大切なことです。

本市においては平成22年3月に「平塚市食育推進計画」を策定し、「みんなではぐくもう！ 食育のまち ひらつかの未来」を基本理念に、次世代を担う子どもたちが、食について楽しみ、感謝し、考える力を養うため、望ましい食への考え方や食文化等を伝えていく環境づくりを重点課題として5年間進めてまいりました。その結果、地域や学校、保育所、関係団体などが連携・協力した、食を育む環境が整いつつあります。

一方、本市も約4人に1人が65歳以上となり、更にその割合が高まることが予測される中で、高齢者への食育、さらには青年期・壮年期への食育も、健康づくりや生活習慣病を予防するうえで重要であると考えられます。

この度、次世代を担う子どもから高齢者まですべての世代で食育が推進できるよう、過去5年間の取組みの成果と課題を踏まえ、「第2次平塚市食育推進計画」を策定いたしました。今後、この計画に基づき、本市の地域性や歴史を活かした食育を進めるとともに、生涯におけるライフステージに応じた取組みを加え、市民の皆様や関係団体の皆様と連携しながら、市民自らが食育のまち、そして平塚の未来を育んでいくことを目指してまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、御審議をいただきました「平塚市食育推進会議」をはじめ、多くの市民の皆様や関係者の方々から貴重な御意見をいただきましたことに、心からお礼申し上げます。

平成27年3月

平塚市長 落合 克宏